

# 保育現場における音楽活動

## —その2 5歳児におけるマーチング導入法—

Musical activities at a nursery school

— Part 2 The introduction of a Marching Band to children of 5 years old —

木 許 隆  
(こども学科 准教授)

**要旨** 保育現場における音楽活動の中には、歌あそび・リズムあそび・楽器あそびなど多くの表現方法がある。本稿は、昨年度の研究に引き続き「保育現場において、音楽活動は楽しく行われているのだろうか。」「子どもに携わる保育者が、子どもを音楽嫌いにしていないだろうか。」という疑問を解決するための手がかりになればと考えている。そして、リズムを感じ、歌をうたうことを通して、音楽を愛する子どもに成長してほしいという筆者の思いから、リズムあそびを中心とした分野から子どもの心を育てる音楽活動とはどのようなものかを探るものである。

【キーワード：子ども・音楽・リズム】

### I はじめに

少子・高齢化をはじめ核家族化・犯罪の低年齢化など、様々な問題を抱える現代に生きる子どもたちは、どのように生活しているのだろうか。毎日の生活の中で音楽に触れ過ぎしているのだろうか。また、情操教育の中から真の感性は育っているのだろうか。このような思いを持ちながら教育現場に身を置いている。

しかし、保育・教育現場において何が起きているのか、何を必要としているのかを研究する機会にはなかなか恵まれないものである。本稿は、昨年度に引き続き、保育現場において子どもの心を育てる音楽活動とはどのようなものかを探ることとする。

### II 研究目的

一昨年、筆者は、「保育現場において、音楽活動は楽しく行われているのだろうか。」「子どもに携わる保育者が、子どもを音楽嫌いにしていないだろうか。」という疑問を持った。そして、子どもが興味を持ち、楽しみながら音楽を感じる心を育てていくために、保育者はどのようなアプローチをする必要があるのか。どのような活動をすれば、音楽することの喜びを感じ、音楽を好きになる子どもを育てられるのかを、リズムあそびやマーチング（鼓隊）活動を中心に研究した。

本稿は、昨年度、考察した3・4歳児における音楽活動をもとに、5歳児における音楽活動を考察したものである。

### III 研究方法

A県内各地の保育所において、どのような音楽活動が展開されているのか、法人認可され市町村役場福祉課に登録されている保育所に「マーチング（鼓隊）活動に関するアンケート調査票」を送付した。そして、回答を郵送にて回収し、集計したものをまとめることにする。

- (1) 調査対象：A県にて認可登録されている保育所926園
- (2) 調査時期：平成19年2月～3月
- (3) 調査方法：質問紙によるアンケート調査を実施（質問紙は資料として掲載）
- (4) 回答園数：442/926園（回答率：47.7%）

### IV 結果と考察

まず、調査結果については、昨年度と同じものを使用することを前置きし掲載する。

表1：公立・私立の区別について

回答項目	回答数	回答率
公立保育所	209	49.5%
私立保育所	213	50.5%

表2：マーチングへの興味および関心について

回答項目	回答数		回答率
興味あり	公立保育所	61	14.5%
	私立保育所	118	27.9%
興味なし	公立保育所	148	35.1%
	私立保育所	95	22.5%

表3：マーチング活動の導入について

回答項目	回答数		回答率
導入している	公立保育所	公立9	2.1%
	私立保育所	私立78	18.5%
導入していない	公立保育所	公立200	47.4%
	私立保育所	私立135	32.0%

以上の調査結果（表1～3）より、マーチング活動に興味はあるが、その活動を導入していないという保育所が多く見られる。興味があっても導入できないということの理由として、楽器を購入しなければならないことの経済的な面と、練習に要する時間の確保が困難であることが考えられる。莫大な費用と時間をかけ、1年間に数度の行事に参加するならば、他の部分で子どもが活動できることを考える方が良いのではないだろうか。その反面、園児数確保などのために、各保育所独自のアピールポイントとしてマーチング活動を行っている保育所もあるようだ。

以下の調査結果は、マーチング活動を導入している保育所（87園）による回答である。

表4：マーチング活動の導入時期について

回答項目	回答数	回答率
3歳児	9	10.4%
4歳児	43	49.4%
5歳児	35	40.2%

この調査結果（表4）より、3歳児にリズムあそび、4歳児にリズムあそびと簡易打楽器を使用した器楽合奏、5歳児にまとめとして、器楽合奏から発展させたマーチング活動を取り入れているという保育所が多いのではないかと推測できる。

運動会をはじめ地域行事への参加など、行事または本番に間に合わせるために、練習を積み重ねる保育所も多く見られるようだが、子どもたちがマーチング活動をどのように感じているのかという点が懸念される。また、フォーメーション（隊列）を組む時間・パート練習・合奏練習の時間など、保育所での生活がマーチング活動中心に偏っているのではないかという点にも注意が必要である。

昨年度の研究では、3歳児のリズムあそびを中心としたマーチング活動への導入を指導案化（表6）した。そして、4歳児のマーチング基本動作と鍵盤ハーモニカの導入を指導案化（表7）した。保育所での生活がマーチング中心の偏ったものではなく、子どもが生き生きと活動できる一部として、音楽が使われるようにならなければならない。そこで、5歳児の時期にどのような音楽活動を行えば、音楽が好きな子どもを育てられるのかという部分に注意しながら、筆者が考える指導案（表8）を提案する。

表6：3歳児音楽指導案

月	リズムあそび	マーチングへの導入
4月	集団生活に慣れ、取り組みに集中できる時間を増やす ・まっすぐに立つ ・床のマーキングに並ぶ ・手を打ち、次に手を打つまでに間を取る	リズムにのることができる ・音楽に合わせて手拍子する ・基本姿勢（まっすぐに立つこと）と足踏みを経験する ・音楽に合わせて歩く 歌いながら歩くことができる
5月	楽しくリズム打ちをする テンポの良い音楽に合わせ、連続してリズム打ちが出来る ・みんなで輪になって座り、手拍子しながら友だちの名前を呼ぶ ・動物や果物の絵を見ながら、リズムに合わせて名前を呼ぶ ・音楽に合わせて手拍子する	

6月	<p>曲のテンポを少しずつ速くする中で、手拍子ができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体全体でリズムを感じられるようにトランポリン遊びをする</li> </ul>	<p>手と足が合う練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者のまねっこ遊びの中から体得する足踏みから合図によって前進する</li> </ul>
7月	<p>カスタネットへの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器であることの説明</li> <li>・つけ方の確認 手の大きさによって左手中指・人差し指・親指につける</li> <li>・構え方の確認 腕は前へ伸ばす 右手の指先を揃え三角形を作るようにし打つ</li> <li>・音楽に合わせて自由に打つ</li> <li>・休符を感じる 休符時の右手の位置を揃える</li> </ul>	
8月 9月	<p>カスタネットでの楽器遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で楽器をつける</li> <li>・少人数アンサンブルをすることにより、どちらがうまくできたかを意識する</li> <li>・指先で弾ませながら打つ</li> <li>・正しい軌跡で打つ（上昇点と打点の間隔が狭くならないよう注意する）</li> <li>・速さを変えることにより、ゆっくりとした間を取ることができる</li> <li>・音符と休符を表現する</li> </ul> <p>スズ・タンブリンを導入し、音色の違いを認識する</p>	<p>止まる練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい姿勢で足を揃えて止まる</li> <li>・合図によって止まる</li> </ul>
10月	<p>音符カードに慣れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムが言えるようになり、そのリズムを打つ</li> <li>・みんなの前で表現することによって自信をつける</li> </ul> <p>カスタネットをポケットに入れ打ったときの音色の違いを認識する 音色の変化とリズム打ちの楽しさを感じる</p>	<p>曲に合わせた足踏み練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの好きな音楽に合わせる</li> <li>・手拍子をしながら足踏みする</li> </ul>
11月	<p>音楽発表会への導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌うことによってイメージを持つ</li> <li>・パート別に歌う</li> <li>・楽器の組み合わせを変えながらアンサンブルする</li> <li>・長い休符には歌詞をあてはめる</li> <li>・楽器を使用せずリズムを歌い合う</li> <li>・周りにつられないようにする</li> </ul>	<p>10月の課題を反復練習する</p>
12月	<p>音楽発表会への練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器を知り、ていねいに使用する</li> <li>・楽器を順番に使う（楽器を使わないときは手拍子などでリズムを感じる）</li> <li>・音楽に合わせて自由な表現ができる</li> <li>・合奏ができる</li> </ul>	
1月 2月 3月	<p>音楽発表会への練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器を知り、ていねいに使用する</li> <li>・楽器を順番に使う（楽器を使わないときは手拍子などでリズムを感じる）</li> <li>・音楽に合わせて自由な表現ができる</li> <li>・合奏ができる</li> </ul>	

表7：4歳児音楽指導案

月	パチ打ち	基本動作	鍵盤ハーモニカ
4月	正しくパチが持てる ・目印として色のビニールテープなどを使うと効果的 ・左右の区別を理解する ・パチで弾くことができる ・練習マットの真ん中を打つ ・手首の柔軟運動をする ・休符の打ち方	左右の区別がつく ・左足へ鈴をつけ楽しむ 気を付けの姿勢を確認する ・つま先の位置・体の重心・目線や手の位置を確認 足踏みの練習 ・2拍子の意識付け ・裏拍で足を上げ次の拍へ向かって準備する ・表拍のかかとの位置を確認する	楽器の名称を知る 指の体操 音当てクイズ ・バトカー・時報 曲当てクイズからの興味付け 唄口の使い方 ・用意 ・おしまい ドの位置の確認
5月	左右交互打ち ・果物などの名前に合わせリズム打ちする ・「さんハイ」でパチを頭上に上げる ・手首の柔軟運動をする	足踏み・前進・足踏み ・目線を定め顔の位置が下がらないように注意する ・歩幅を均等に作る ・足踏み前進への準備を速やかに ・返事をする	吹き方 ・ロングトーンとタンギングの練習をする ・手の形を鍵盤の上以外の場所で作る ド～ソの位置がわかる ・チューリップの分奏 ・タンギングで音を切る
6月	運動会のドリル曲の決定 ・音楽を聴きながら曲を知る ・音楽に合わせて簡単なリズムであそぶ ・パチを持たずに手首を使ってリズムを打つ ・ひじを体より前に出すことに注意する	方向転換 ・右向け右・左向け左・回れ右（手を広げヘリコプター遊びを行う） ・インターバルの感覚を身に付ける 足を拍に合わせて確実に動かす ・目線と腰の位置を確認し足がまっすぐ動くよう注意する	かえるの合唱 ・スラーで演奏する部分とタンギングで演奏する部分を理解する ・歌って輪唱する
7月	パート練習 ・個人指導からパートの中で自信がもてるようになる ・ゆっくりの速さから練習し、リズムを感じられないときは、果物の名前などの言葉をあてはめる。 ・片手ずつ取り組む	コンビネーション ・8拍ごとに足踏み・前進・回転などを取り入れ、8拍目から1拍目への足の運びを確認する ・片手を体の横へ伸ばしインターバルを取る	フレールジャックを題材に高音と低音の区別を身に付ける ・輪唱で歌うことから分奏へ発展する ・音の跳躍を練習する
8月 9月	周りの音に対する意識を高め、グループの練習に取り組む ・テンポが乱れないよう音を聴き取り指揮に合わせる ・フレーズごとにバランスチェックする ・エンディングの盛り上がりとパフォーマンスの練習を行う	フォーメーション ・ディスタンスの間隔を身に付ける ・自分の立ち位置から周りを確認し、立ち位置と正面の感覚を身に付ける ・かかところから歩く意識を再確認する ・カウントは言葉を短く切って行う	ド～ソまでの音当てクイズ（聴音） ・低いドやスケールを演奏した後、単音を演奏しクイズにする 親指をくぐらせる練習 拍に対する意識付け ・拍を取るグループと演奏するグループに分かれ練習する 指と指の感覚を広げる
10月	これまでの復習練習 ・音楽発表会の器楽合奏へ向けてパチでのリズム練習を行う	これまでの復習練習 ・無理をせず、1つ1つの動作が確実にできるよう練習する ・足踏み（1拍目が揃う） ・前進（1歩目が揃う） ・気を付け（前を向く姿勢） ・上半身を安定させ動作できているか確認する ・並ぶとき・動くときのインターバルとディスタンスを確認する	スタッカートの練習 音楽発表会に演奏する曲を階名唱し指使いを知る へ長調・ト長調を取り上げ、黒鍵の弾き方について練習する 歌をとおして曲のイメージを伝える
11月 12月			音楽発表会の曲を練習する ・パート練習・分奏により、確実な譜読みを行う ・強弱やテンポを整え、ブレスのタイミングを揃える ・うたい、リズムを打って曲のイメージをとらえる ・フレーズごとにリズムが揃うよう反復練習する

1月 2月 3月	姿勢・バチの持ち方の確認 音楽に合わせて左右交互打ちのリズムパターンを歌う 言葉に合わせて打つことによりアンサンブルする力を高める 楽器の音色を確認する	4人1組のグループ練習を行う ・テンポを変えながら、様々なパターンへ展開させる ・かかとから歩く・目線・足を運ぶタイミングなどを確認し、動きにメリハリを付ける	1人1人が同じ音量で演奏できるように心がける レパートリーを増やすことによって自信を持ち演奏できる スケールの練習 ・手の形の確認 ・カウントを出しプレスすることを身に付ける ・プレスコントロールを身に付ける
----------------	---------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

表8：5歳児音楽指導案

月	バチ打ち	基本動作	鍵盤ハーモニカ
4月	正しくバチを持ち、手首の柔軟性を使って打つ 4分音符と8分音符の区別ができる	つま先の位置・体の重心・目線や手の位置を確認し足踏みができる 2拍子を意識し裏拍で足を上げ次の拍へ向かって準備する ・表拍のかかとの位置を確認する	唄口の使い方を確認し、楽器を正しく使う ロングトーンとタンギングの区別ができる ド～ソの位置を確認しタンギングで音を切る
5月	予備拍を感じ左右交互打ちができる	目線を一定にし、歩幅を合わせて歩く 腰・肩の位置を合わせ、周り揃う喜びを知る	かえるの合唱 ・スラーとタンギングを演奏で区別する
6月	運動会のドリル曲の決定 ・音楽を聴きながら曲を知る ・音楽に合わせて簡単なリズムであそぶ ・バチで曲に合わせてリズムを打つ	方向転換 ・右向け右・左向け左・回れ右・4拍での180度ターン・2拍での180度ターン ・インターバルの感覚を身に付ける	
7月	各楽器におけるパート練習 ・個人指導からパートの中で自信がもてるようになる ・ゆっくりから練習し、リズムを感じられないときは、果物の名前などの言葉をあてはめる。	コンビネーション ・8拍ごとに足踏み・前進・回転などを取り入れ、8拍目から1拍目への足の運びを確認する ・肩の位置で隣との間隔を知る	親指と小指を広げ音の跳躍を練習する
8月 9月	周りの音に対する意識を高め、グループの練習に取り組む ・テンポが乱れないよう音を聴き取り指揮に合わせる ・フレーズごとにバランスチェックする	フォーメーション ・楽器を持たずに立ち位置を確認する ・インターバルを確認し、ディスタンスの間隔を身に付ける ・自分の立ち位置から周りを確認し、立ち位置と正面の感覚を身に付ける	2つのグループに分かれ、ハーモニカ感覚を身に付ける
10月	これまでの復習練習 ・音楽発表会の器楽合奏へ向けて練習を行う	これまでの復習練習 ・足踏み（1拍目が揃う） ・前進（1歩目が揃う） ・気を付け（前を向く姿勢） ・上半身を安定させ動作できているか確認する ・並ぶとき・動くときのインターバルとディスタンスを確認する	音楽発表会に演奏する曲を階名唱し指使いを知る ト長調・二長調を取り上げ、黒鍵の弾き方について練習する 歌をとおして曲のイメージを伝える
11月 12月			音楽発表会の曲を反復練習する ・パート練習・分奏により、確実な譜読みを行う ・強弱やテンポを整え、プレスのタイミングを揃える ・うたい、リズムを打って曲のイメージをとらえる
1月 2月 3月	アンサンブルする力を高める 楽器の音色を確認する	4人1組のグループ練習（コンビネーション）を行い、動きにメリハリを付ける	レパートリーを増やすことによって自信を持つ スケールの練習

## V 今後の課題

本稿では、5歳児のリズムあそびからマーチング活動への導入について調査および研究を行った。今後、保育者側の「やらせ」になり、子どもから楽しみや喜びの部分を奪ってしまうようなことにならないよう配慮した指導方法および援助方法を研究することが大切であると考えられる。特に5歳児においては、小学校へ進学した後も音楽が好きになるような指導方法を構築しなければならないことは言うまでもない。

今後、子どもと音楽について深く探り、3～5歳児における音楽活動について、発達段階をふまえた音楽活動をより深く研究し、子どもたちの持つ可能性も探りたいと考えている。

## 引用文献

1) 木許 隆著, “保育現場における音楽活動 - その1 3・4歳児におけるマーチング導入法 - ” 中京短期大学論叢第38巻第1号 March 2008. pp.11 - 17

## 文献

James L.Mursell (美田節子訳)、音楽的成長のための教育、音楽之友社、1992、10-362

日本マーチングバンド指導協会、マーチングバンド・バトントワーリング 指導書、上巻、日本マーチングバンド指導者協会、1994、8-83

木許隆・高倉秋子・高橋一行・三縄公一、保育者のためのリズム遊び、音楽之友社、2007、6-34

## 資料

## マーチング（鼓隊）活動に関するアンケート調査票

該当する項目に○を付けて下さい。

公立保育所 ・ 私立保育所

設問1：マーチング活動に興味はありますか。

興味ある ・ 興味ない

設問2：マーチング活動は取り入れていますか。

取り入れている ・ 取り入れている

以下の質問は、設問2で「取り入れている」と答えられた園へ伺います。

設問3：マーチング活動を何歳児から取り入れていますか。

3歳児 ・ 4歳児 ・ 5歳児

設問4：どのような場面でマーチング活動を活用していますか。（複数回答可）

運動会・音楽会・生活発表会・地域行事への参加・コンテスト・その他（ ）

設問5：1週間のうち何日くらい練習しますか。

1～2日・3～4日・5～6日・その他（ ）

設問6：1日のうちでどの時間帯に最も多く練習しますか。

9～10時・10～11時・11～12時・13～14時・14～15時・15時以降

設問7：マーチングを指導するにあたって外部講師を招いていますか。

招いている・招いていない

設問8：マーチングの練習日に欠席する子どもはいますか。

いる・いない・時々いる

設問9：マーチングの練習を始める前、子どもたちはどのような表情をしていますか。

笑顔が見られる・笑顔は見られない・その他（ ）

設問10：マーチングの練習が終わった時、子どもたちはどのような表情をしていますか。

満足している・疲れきっている・その他（ ）

設問11：マーチングについて、困っていることがあればお書き下さい。（自由記述）